

S I A 認定アルペンスキー教師検定実施要綱

<資料>

S I A 認定スノースポーツ教師検定規程に基づき、検定を行うためにこの実施要綱を定める。

アルペンスキー・ステージ I

1. 種目の特性に応じた基礎理論

(1) 集合講習

受検者は所定科目を受講する。

イ. 科 目

科目はSIA公式メソッドからとする。ただし、事情により変更することができる。

- SIA理念 ○SIA会員の心得 ○マナーの基本 ○子供の指導方法と注意事項
- スキー修学旅行での指導と問題点 ○スキー場管理区内での心得
- SIA教師資格とメダル検定

2. 実 技

(1) 集合講習

所定の集合講習修了後に検定を行う。また公認スキー学校長が修了証明書を協会へ提出することとする。

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- プルークボーゲン ○基礎パラレルターン

ロ. 採点方法

公認スキー学校長または公認スキー学校長が委嘱した1名のステージIV（アルペンスキーイグザミナー「以下APイグザミナー」含む）活動会員によって採点する。

採点は100点満点とする。

ハ. 合 否

60点以上を合格点とする。

3. 指導実習

(1) 集合講習

受検者は所定科目を受講する。

イ. 科 目

科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- SIA公式メソッドの準備過程～プルークボーゲン深回りまでの指導の流れ
- レッスンをを行うスキー場の実情にあわせた心得と安全管理

アルペンスキー・ステージⅡ

1. 種目の特性に応じた基礎理論

(1) 集合講習

受検者は所定科目を受講する。

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

○対象に応じた指導法・技術検定 ○教師の心得 ○作文

ロ. 採点方法

会長が委嘱した講師またはAPイグザミネーによって採点し、100点満点とする。

ハ. 合 否

60点以上を合格点とする。

2. 実 技

(1) 集合講習

所定の集合講習修了後に検定を行う。

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

○プルークボーゲン ○シュテムターン ○パラレルターン・ロング

○基礎パラレルターン・ショート

ロ. 採点方法

会長が委嘱した2名の講師またはAPイグザミネーによって採点し、2名の合計点とする。採点は200点満点とする。

ハ. 合 否

120点以上を合格点とする。

3. 指導実習

(1) 集合講習

所定の指導実習の集合講習修了後に指導の検定を行う。

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

○指導計画の作成 ○個人指導 ○対象に応じた指導 ○指導実施後の評価

ロ. 採点方法

会長が委嘱した2名の講師またはAPイグザミネーによって採点し、2名の合計点とする。採点は200点満点とする。

ハ. 合 否

120点以上を合格点とする。

アルペンスキー・ステージⅢ

1. 種目の特性に応じた基礎理論

(1) 集合講習

受検者は所定科目を受講する。

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- 外国語 ○力学 ○救急法 ○スノースポーツの変遷 ○技術指導法
- 雪山の安全対策論 ○指導者論・技術検定（メダル）
- 対象に応じた指導（障がい者スキー）

ロ. 採点方法

会長が委嘱した講師またはAPイグザミネーによって採点し、100点満点とする。

ハ. 合 否

60点以上を合格点とする。

(2) 通信講習

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- 外国語 ○力学 ○救急法 ○スノースポーツの変遷 ○技術指導法
- 雪山の安全対策論 ○指導者論・技術検定（メダル）
- 対象に応じた指導（障がい者スキー）

ロ. 出題及び採点方法

会長が委嘱した講師またはAPイグザミネーが出題し、通信講習修了後最低3ヶ月間でレポートを提出する。採点は出題者が行い、100点満点とする。

ハ. 合 否

60点以上を合格点とする。

2. 実 技

(1) 集合講習

所定の集合講習修了後に検定を行う。

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- パラレルターン・ロング（伸身） ○パラレルターン・ロング（屈身）
- パラレルターン・ショート ○総合滑降 ○ゲート滑降（体験）

ロ. 採点方法

会長が委嘱した2名の講師またはAPイグザミネーによって採点し、2名の合計点とする。採点は200点満点とする。

※ゲート滑降は体験のみとする。

ハ. 合 否

140点以上を合格点とする。

3. 指導実習

(1) 集合講習

所定の指導実習の集合講習修了後に指導の検定を行う。

イ. 科目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- 指導計画の作成 ○個人指導 ○集団指導 ○対象に応じた指導
- 指導実施後の評価

ロ. 採点方法

会長が委嘱した2名の講師またはAPイグザミネーによって採点し、2名の合計点とする。採点は200点満点とする。

ハ. 合 否

140点以上を合格点とする。

アルペンスキー・ステージIV

1. 種目の特性に応じた基礎理論

(1) 集合講習

受検者は所定科目を受講する。

イ. 科目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- 外国語 ○スノースポーツ産業の現況 ○施設・経営論
- トレーニング論・基礎と専門 ○コンディショニング ○技術論
- 技術指導法 ○スキーの山岳と気象・雪崩

ロ. 採点方法

会長が委嘱した講師またはAPイグザミネーによって採点し、100点満点とする。

ハ. 合 否

60点以上を合格点とする。

(2) 通信講習

イ. 科目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- 外国語 ○スノースポーツ産業の現況 ○施設・経営論
- トレーニング論・基礎と専門 ○コンディショニング ○技術論
- 技術指導法 ○スキーの山岳と気象・雪崩

ロ. 出題及び採点方法

会長が委嘱した講師またはAPイグザミネーが出題し、通信講習修了後最低3ヶ月間でレポートを提出する。採点は出題者が行い、100点満点とする。

ハ. 合 否

60点以上を合格点とする。

2. 実 技

(1) 集合講習

所定の集合講習修了後に検定を行う。

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

○パラレルターン・ロング ○ウェーデルン ○総合滑降 ○ジャイアントスラローム

ロ. 採点方法

会長が委嘱した3名の講師またはAPイグザミネーによって採点し、3名の合計点とする。採点は300点満点とする。ただし、ジャイアントスラロームは別に定める方法によって行う。

ハ. 合 否

240点以上を合格点とする。ジャイアントスラロームは前走者（S I Aメダル検定のペースメーカー）のS L Tの105%以内を男性の合格とし、女性は115%以内とする。

ただし、50歳以上の者は110%以内を男性の合格とし、女性は120%以内とする。

3. 指導実習

(1) 集合講習

所定の指導実習の集合講習修了後に指導の検定を行う。

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

○指導計画の作成 ○個人指導 ○集団指導 ○対象に応じた指導

○指導実施後の評価

ロ. 採点方法

会長が委嘱した3名の講師またはAPイグザミネーによって採点し、3名の合計点とする。採点は300点満点とする。

ハ. 合 否

240点以上を合格点とする。